

【筑豊交通圏】計画的な活性化の取り組み目標について

協議会名:筑豊交通圏タクシー準特定地域協議会				R6年度	令和 実 績 年 度 値	令和 目 標 年 度 値	令和 目 標 年 度 値	備 考
区域データ		事業者数	12					
		車両数	284					
		運転者数	266					
活性化事業項目名	①	妊婦・子ども向けタクシー	取組事業者数		3	3	5	飯塚市が妊婦向けタクシーを制度化したため、2社が新規参入した。7年度についても積極的に導入を働きかけることとしたい。
			取組事業者シェア率		7.7%	25.0%	41.7%	
	②	ユニバーサルドライバー研修	受講者数		42	32	56	県のUDタクシー補助金条件に研修の義務化が条件であり、目標値は令和6年度実績+αとした。
			受講運転者数シェア		15.8%	12.0%	21.1%	
	③	観光タクシー	取組事業者数		13	13	12	令和6年度は、1社が廃業し、インバウンドの観光事業は、筑豊交通圏には今だ影響が少ないことにより観光タクシーは事実上運用がなかったので、目標値は事業者12社受講者は令和6年度と同値とした。
			受講運転者数		0	50	50	
			受講運転者数シェア		0.0%	18.8%	18.8%	
	④	外国語講習	受講者数		0	1	1	令和6年度においても外国語講習はほとんど進んでいない。目標値は令和5年度と同数にした。また、翻訳アプリ等の導入を推進したい。
			受講運転者数シェア		0.2%	0.4%	0.4%	
	⑤	アプリ配車	導入事業者数		2	5	5	全体的に事業者に導入の働きかけを行っているが、乗務員不足・燃料高騰等の影響により、経営状況はコロナ禍前まで回復していない状況であるので、目標値は令和6年度と同数にした。
			対応車両数		46	113	113	
			対応車両数シェア		16.2%	39.8%	39.8%	
	⑥	UDタクシー	導入車両数		22	30	30	国、県の補助金制度が続くと仮定し、導入が進むと考えられる。
			導入車両数シェア		8.3%	11.3%	11.3%	
	⑦	環境対応車	導入車両数		1	1	2	乗務員不足・燃料高騰等の影響による各業者の収益悪化の為増車は大変厳しい。これまでHV車も含めて数字を作っていましたが、今後はPHVと電気タクシーに変更。
			導入車両数シェア		0.4%	0.4%	0.7%	
	⑧	先進安全自動車(ASV)	導入車両数		0	2	2	乗務員不足・燃料高騰等の影響による各業者の収益悪化の為増車は大変厳しい。ジャパンタクシー等標準装備でASVが装備されている車両の導入を進める。
			導入車両数シェア		0.0%	0.7%	0.7%	
	⑨	クレジットカード 電子マネー等	導入車両数		284	289	284	今後は、車両数の100%の導入を目標としたい。
			導入車両数シェア		100.0%	101.8%	100.0%	

*表内数値は、いずれも年度末時点

*令和7年度及び令和6年度目標シェアは、令和6年度末数値を分母とした。